

パブリックコメント実施結果

(提出された意見と組合の考え方)

小牧岩倉衛生組合ごみ処理基本計画（案）について、以下のとおり意見募集を行いました。

1 意見募集期間

令和2年2月3日(月)から
令和2年3月4日(水)まで

2 意見募集の周知方法

- (1) 広報こまき 2月1日号
- (2) 広報いわくら 2月号
- (3) 組合ホームページ

3 資料閲覧場所

- (1) 小牧岩倉エコルセンター（管理棟1階情報コーナー）
- (2) 小牧市役所ごみ政策課（本庁舎2階）
- (3) 岩倉市役所環境保全課（3階）
- (4) 組合ホームページ

4 提出された意見の件数

2名より計2件

(参考)意見提出方法の内訳(単位 人)

提出方法	郵送	メール	ファックス	持参	計
人数	—	1	—	1	2

5 提出された意見と組合の考え方について

No.	提出された意見	意見に対する組合の考え方
1	<p>市のホームページに、収集した燃やすごみに（資源となる）紙類が三分の一を占めるとありました。紙の資源回収で、かつて、感熱紙等の特殊処理紙は出してはいけない、住所氏名等個人情報記された書類やはがき等は出さない方がよい等の伝達があり、その時の意識が今も作用しているところがあります。また燃やすごみにプラスチックの混入は、炉を傷める、ダイオキシンが発生する等の指摘があり、気を使ってプラスチック類を排除してきたものでした。今もその意識で分別を行っています。ところが平成27年に設備が更新され、能力刷新により、今日ではプラスチックは燃料として活用されているのです。そうであれば、更新された設備の能力を正しく市民に示し、適正なごみ分別となるように、学校教育や市民活動団体等の力も借りて、市民の皆に適切に周知されるよう努めてくださることを願います。</p> <p>センターや処分場の見学、小牧市の出前講座、岩倉市のごみ探検教室等、素敵な事業がありますが、あまり活用されていないと聞きます。宝の持ち腐れと思います。学校の遠足をはじめ、自治会や地域協議会、市民活動団体等の研修会等にこれらを選ばれるように積極的に案内し、売り込こんでいただきたいと思います。リサイクルの現場で、作業従事者がどのように苦勞して作業されているかなどを多くの人に見てもらい、市民の関心や意識を醸成する戦略を練っていただきたいと思います。</p> <p>プラスチックごみの海洋流出は何としても阻止しなければならないことと思っています。その具現として、廃プラスチック燃料化思想の普及、また善意の人が河川や浜、海洋からそれを回収したらそれを買い取る等の制度化を期待します。</p>	<p>小牧岩倉衛生組合ごみ処理基本計画では、「基本方針1 市民・事業者のごみ減量・分別に向けた意識啓発」に係る目標達成に向けた取り組みとして「本組合施設見学を通じた環境教育の実施」を掲げています。施設見学を通じてごみ処理の現状を理解していただき、ごみに対する意識啓発を促進するよう努めてまいります。また、いただきましたご意見は、構成市である小牧市及び岩倉市を含め、今後の施策展開の参考とさせていただきます。</p> <p>プラスチックごみの海洋流出に対しては、ごみ処理過程等からの非意図的な流出やポイ捨て等の不法投棄の防止対策を行うとともに、環境中に排出されたプラスチックごみについては、海に流出する前に陸域において回収することが重要であると考えております。現在、構成市である小牧市及び岩倉市にて展開されているアダプトプログラムや市民・民間の美化ボランティアに対する支援等に関して、組合としても貢献できる取り組みについて検討してまいります。</p>

2	小牧岩倉エコルセンターへの土曜日持ち込みを可能にしていきたい。平日に休暇をとって搬入することは、非常に困難で、大型ゴミだと収集へ出すことができない。	ごみ搬入日については、月曜日から金曜日にあたる祝日においては搬入が可能です。いただきましたご意見については、今後の施設運営の展開の参考とさせていただきます。
---	--	--